

<各年次における到達目標・計画>

年次	到達目標・計画
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ☑教員となるための心構えや教員を目指すことを自覚している。 ☑教職の意義や教員の役割、職務内容などを理解している。 ☑教育に対する使命感、高い倫理観と規範意識を持っている。 ☑また、教職課程科目の基礎を修得している。
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ☑学校・社会組織の一員として挨拶や服装、言葉遣いなどの基本が身に付き、教員が担う責任の重さや生徒理解の重要性を理解している。 ☑生徒に対する責務等を理解し、併せて、保護者・地域等との連携・協力の重要性をも理解している。 ☑また、専門教科科目の履修を通じて、さらに教科についての知識を深める。教育実習に向けて模擬授業を始め、授業のやり方に触れ、意識を高めている。
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ☑的確な話し方や板書、表情など授業を行う上での基本的な技術を身に付け、教育実習に備えて現場の理解を深めている。 ☑教科書の内容を十分理解しているなど、教科等の知識や技能など学習指導の基本的事項を身に付け、教員としての実践的能力の向上を図っている。教職教養を学習しつつ、模擬授業の経験を積むことにより、指導案の作成などを理解し、教育実習に向けての基礎的な能力を養っている。 ☑小・中学校ボランティアへの参加等による現場の理解、特別支援教育等での個々の生徒の特性や状況に応じた対応を修得している。 ☑また、介護等体験を通じて、教員としての資質の向上を図り、現場の理解を深めている。
4年次	<ul style="list-style-type: none"> ☑教育実習およびその事前・事後学習を通じて、教員としての資質を高めている。 ☑個々の生徒の特性や状況を把握し、生徒を一つの学級集団としてまとめていく手法を身に付けている。 ☑教育実習終了後に、反省会等を行い、教員に求められている資質が備わっているかどうかを振り返り、欠けている部分を意識し修正している。 ☑また、実習の経験を基に学級経営案を作成し、学級担任の役割や実務、他の教職員との協力の在り方等を修得している。